elegantsis

使用說明書

日 本 語 English 中 國 語

日本語

この度は弊社のelegantsis ウォッチをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます

お買い上げいただきましたelegantsisシリーズのプロフェッショナルウォッチにつきまして、御使用前に、必ず、この取扱説明書の各説明をよくお読みいただくことをお願い申し上げます。また、この取扱説明書は、随時ご覧いただけるようにお手元に保管し、説明書の最後に添付したelegantsisウォッチの保証書は大切に保存して戴きますようお願い申し上げます。

目次

一．腕時計についての常識 …… P１-P３

二．腕時計についてのご注意 …… P３-P６

三．腕時計のお手入れについて …… P７-P９

四．防水機能について …… P９-P１０

五．ムーブメントについて …… P１１-P４９

六．その他のご注意 …… P５０-P５１

七．保　証　書 …… P１５４

一．腕時計についての常識

クオーツ（ＱＵＡＲＴＺ）時計とは？

クオーツ（石英）は一種の白色酸化物、成分は二酸化ケイ素（SiO2）です。クオーツは発振回路内で振動し、特定条件の下、クオーツ自身の周波数を回路に伝えます。この特性をクオーツムーブメントに応用した場合、クオーツ発振器を経た電気エネルギーは運動エネルギーに変換され、オートメーションで大量生産した回路板に抵抗とコンデンサを配列して、ムーブメントが完成します。そして更に、時計のケース、ガラス、バンドを取り付けます。クオーツの長所は、精確、軽量、簡単なメンテナンスにあります。欠点はクオーツ電池の寿命は使用状況にもよりますが、ほぼ1～2年である点です。

クオーツ時計と機械式時計の簡単な見分け方

通常、腕時計の表面または裏蓋にはクオーツ（ＱＵＡＲＴＺ）または機械式（ＡＵＴＯＭＡＴＩＣ）の表記があり、クオーツ時計か機械式時計かをはっきり見分けることができます。また、もう一つの見分け方として、腕時計の秒針の動きを見る方法があります。秒針が一秒一秒跳んで動いているなら、この時計はクオーツで、それに対し、跳ばないなら機械式です。クオーツには秒針が一回で2秒または4秒動く場合もありますが、この時、あなたの腕時計が電池交換をする必要があることを示しています。一部のクオーツ時計にはこの機能が備えられており、一回に4～5秒動いて電池交換の時期を前もってお知らせします。

機械式時計のお手入れについて

機械式時計の修理において最も多く見られるのは、水の浸入や衝撃を受けることによる故障です。機械式時計に防水機能と表示されていない場合は、絶対に時計のケースに水を入れてはいけません。水によって機械が腐蝕しますし、破壊力が非常に強いからです。海水は尚更です。防水と表示されていても、保証はたったの1年です。よって、1年後は、防水機能を保つために新しい防水用オーリングに取り替えることをお勧めします。防水の他、衝撃を受けることも注意しなければなりません。日常生活において経済的に許されるのなら、2～3の時計を交替で付けてもよいでしょう。静かな活動の時は機械式時計、運動をする場合にはスポーツウォッチと使い分けるなら、腕時計の使用寿命を延ばすことができます。機械式時計は歯車とゼンマイの働きによって動きますが、摩擦を抑えるために潤滑オイルを入れる必要があり、これによって使用寿命を延ばします。機械式時計は、使用上の問題、または水の浸入によるムーブメントパーツの慢性的な腐食がないかどうか等を毎年検査する『定期検査』が非常に重要です。また、3年に一度、正規の代理店にて徹底的なクリーニングとメンテナンスを行うことをお勧めします。内部のクリーニングはプロに任せる必要がありますが、外部のクリーニング作業は自分で行っても構いません。まず、軟毛の歯ブラシに洗浄液をつけてバンドを洗い、最後に水拭きするだけでＯＫです。防水機能のあるケースもこの方法でクリーニングできます。防水機能のないケースは絶対に歯ブラシで洗ってはいけません。通常は、外部をきれいにする作業はとても大切です。垢や塵等の細かい物質は気付きにくいですが積み重なります。清潔にしておかないと、バンドに錆が生じたり腐食や崩れも起き易くなりますので、クリーニングを怠らないようにしましょう。

機械式（ＭＥＣＨＡＮＩＣ）時計とは？

機械式時計は通常、手動でゼンマイを巻き上げるものと自動で巻き上げるもの（ＡＵＴＯＭＡＴＩＣ）の二種類に分かれます。この二種類の機械式時計の動力はムーブメント内のゼンマイで、それによって歯車を動かして時計の針を進ませます。但し、動力を起こす方法は異なります。手動の機械式時計は手でゼンマイを巻き上げます。ムーブメントの厚みは自動の腕時計より若干薄く、それに伴い腕時計全体の重量も比較的軽いです。それに対し、自動の腕時計は、ムーブメントの底部にある自動盤を左右にスウィングさせて動力を起こしゼンマイを駆動してエネルギーを生じさせます。ですから、厚みは一般の手動の腕時計より若干厚くなります。機械式時計の長所は、定期メンテナンスでオーバーホールを行えば、長時間使用できる点にあります。しかし、欠点は、クオーツ時計と比較し誤差が大きい点です。それは、製作した製品品質に優劣があることと、腕時計内部のムーブメントが地球引力の影響を受け易いことによって引き起こされます。通常、機械式時計の誤差は、一日に何秒かで計算しますが、クオーツ時計の誤差は、一月に何秒かで計算します。

二．腕時計についてのご注意

ムーブメント:

1.腕時計を、スピーカー、マイクロウェーブ、電磁調理器などの強い磁気の近くに置く事は避けましょう。
2.極端な低温環境の下では、ムーブメントのパーツ間の潤滑油が凝結し、腕時計が停止することもあります。ご注意下さい。
3.切れた電池を長時間、腕時計内部に置いておくと、ムーブメントのパーツが腐食することもあります。ご注意下さい。
4.腕時計は高温環境の下で長時間放置しますと、ムーブメントのパーツが故障することもあります。ご注意下さい 。

ケース：

1.防水消耗材には一定の使用期限があります。よって、なるべく腕時計を濡らしたり雨にあたらないようにし、定期的に時計店でのメンテナンスを受けて下さい。
2.一般に腕時計は高温において長期的に放置すると故障します。ご注意下さい。

バンド：

1.軟毛の歯ブラシに中性洗剤をつけて、ケース、バンドの隙間の汚れを取り除き、柔らかい布で拭き取る定期的なクリーニング作業をお勧めします。これによりバンドの使用寿命を延ばし、皮膚のアレルギーを防止することができます。
2.一般に皮革バンドは防水しておりません。汗や水分がついた時は、速やかに風通しのよい場所で乾燥させましょう。

その他：

腕時計の品質を確保する為に、いずれかのアフターサービスを必要とする場合は、お近くのelegantsisの販売店までお越し下さい。販売店は、elegantsisのウェッブサイト【Http://www.eleganttime.com/】にてお調べできます。

腕時計のメンテナンスについて

機械式時計および機械式自動時計は、精確さを保つために、3年毎のクリーニングとメンテナンスをお勧めします。クオーツの可動パーツもメンテナンスが必要です。それらは非常に微細であるため、圧力を受け続けると、何れの微細な物体もストップしてしまいます。可能であるなら、電池を使い切ったら速やかに交換しましょう。これが恒例のメンテナンスともなります。デジタルクオーツ時計は、電池交換の他、定期的なメンテナンスを必要としません。防水用オーリングを備える腕時計は、常にクリーニングする必要はありませんが、時計の蓋を一旦開けたら、速やかに防水用オーリングを交換するか、次の年に交換しなければなりません。販売店では交換と同時に、抗圧装置を使った防水検査をしてもらいましょう。常に化学物質にさらされるか海水中にいる環境では、電気メッキのケースとバンドが損傷します。よって、このような状況にいる場合は、堅固な金属製か特殊構造の腕時計をお勧めします。この他、化粧品や香水が、直接、腕時計やバンドに付着しても、故障の原因となりますので、ご注意下さい。

腕時計の電池寿命はどのくらい？

通常、2年から5年です。腕時計の種類、大きさ、機能により寿命も異なります。例えば、ストップウォッチ付きの時計は、時刻を知らせるだけの腕時計より電池を使います。腕時計には電池量を知らせる機能の付いたものもあり、秒針が5秒に一度跳んで、正規販売店での電池交換時期をお知らせします。特製のリチウムイオン電池は基本的には10年の寿命です。

バンドのお手入れについて

金属製バンドのお手入れについて

金属製バンドに汗や水分が付着したまま放置すると、バンドに錆が生じて衣服の袖等を汚してしまうこともあります。金属製バンドが汚れた時は石鹸洗浄をしましょう。汚れがひどい場合は、軟毛の歯ブラシで軽くこすってみましょう。【防水機能のない腕時計は、本体を濡らすことのないよう御注意下さい】洗浄後、水分がバンドの隙間に残らないように、柔らかい布でていねいに拭き取って下さい。メンテナンスの際は、除光剤、希釈剤、薬剤のご使用はおやめ下さい。通常、海水中でご使用になる防水強化の腕時計の洗浄には、化学薬品をご使用にならず水で洗い流すだけでＯＫです。※ゼンマイ付きの腕時計は、リューズ部分に汚れがたまり易く、徐々に軸がきつくなります。このような場合は、軸部分をクリーニングして下さい。

皮革製バンドのお手入れについて

皮革製バンドと金属製バンドとを比較すると、皮革製バンドの方が汗や水分による損傷が大きいです。よって、誤って濡らしてしまった場合は、吸水性のよい柔らかい布できれいに拭き取って下さい。また、腕時計を取り外した後は、風通しのよい場所に置いて下さい。汗のかき易い季節では、バンドを少し緩めにすると通気性がよくなります。大体一本の指が入る程度が最も理想的なきつさです。長時間、太陽のあたる場所に置くとバンドが変色しますので、車内や太陽のあたる場所での長時間放置はなるべく避けて下さい。

三．腕時計のお手入れについて

一．クオーツ時計がストップした場合は、速やかに電池を交換して下さい。長時間使用しない場合は、電解液の流出によるムーブメントの腐食が起きないように、時計店で電池を取り外してもらい、乾燥した場所で保管して下さい。

二．腕時計を保管する場所には樟脳、防虫剤等を置かないようにして下さい。化学物質が継続的に放出すると腕時計内部の潤滑油を分解し故障の原因となります。

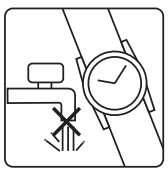
三．腕時計を保管する前には必ず汚れ、汗、水分を柔らかい布で拭き取って下さい。身体は始終、汗、皮膚の老化や剥離などの新陳代謝を続けています。それにより、ケースやバンドに汚れが付着し易く、メッキの色あせやステンレスの腐食、バンドの硬化や臭化がおきますので、24時間身に付けてご使用することはお避け下さい。

四．腕時計は、使用寿命を延ばすために、1、2年毎に、お買い上げいただいた販売店でのメンテナンスを受けることをお勧めいたします。
メンテナンス内容：防水検査、オーバーホール、注油、測定。

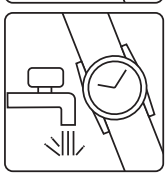
五．台湾地区は蒸し暑いため、バンドが硬化し臭化することもあります。通常は、ご使用後の1～2年でバンドが損傷します。外観や付け心地に影響を及ぼさないためにも、この時期に新しいバンドへご交換下さい。状況のひどい場合はバンドが硬化により切れてしまい、知らぬ間に腕時計を遺失してしまうこともあります。ご注意下さい。【使用状況にもよりますが、長時間、異なる湿度や温度にいる場合、バンドの劣化が起き易くなります。腕時計を取り外した後の拭き取りを忘れないで下さい。】

六. 日付表示機能を備えた腕時計は、夜９時から早朝３時の間、時刻合わせや日付合わせを行わないで下さい。この時間帯に、日付更新自動システムが起動しますので、時刻や日付を合わせると更新機能に損傷を与えます。よって、上記の時間帯での操作はお避け下さい。

七. あなたの腕時計の防水機能は？



防水、生活防水機能はありません。水に近寄らないようにし、収納時は乾燥した湿気のない場所に置いて下さい。



生活防水機能付きの腕時計／3気圧：通常は裏蓋を押して生活防水します。但し、生活防水装置だけなので、水に入ったり水泳には適しません。

防水機能付きの腕時計／5気圧：裏蓋ははめ込み式です。水に入ることは可能ですが水泳やダイビングはできません。

ダイバーズウォッチ／10気圧以上：時刻を合わせた後は、ダイビング及び通常時に各防水リューズがきちんと閉められているかどうかを必ず御確認下さい。防水性10気圧以上のリューズは大部分がネジロック式です。時刻を合わせる前には逆時計回りにまわし、時刻を合わせた後は時計回りにまわしてネジをしめて下さい。

防水機能付き腕時計についてのご注意

1. 力の強い水柱や水の流れ、シャワー等の高水圧が直接、腕時計に衝撃を与えないようにご注意下さい。
2. 腕時計に水分が付着した場合はリューズを動かさないで下さい。
3. 時刻合わせをした後、リューズを最後まできつくしめたかどうか御確認下さい。
4. 日常生活において衣服を着用した場合は、糸などがリューズに引っ掛かっていないかどうか御確認下さい。このような状況の場合、水が浸入することもあります。
5. 石鹸やシャンプーの過度の使用により防水用オーリングの劣化が加速します。特に御注意下さい。
6. 温泉には金属変色、腐食、防水用オーリングの劣化を促す成分が入っています。入浴時には腕時計をお取り外し下さい。
7. 高温蒸気は水分子が細かいため、水の浸入する原因になります。ご注意下さい。

四．防水機能について

防水機能付き腕時計の裏蓋には“WATER-RESISTANT”という表示がありますが、防水機能のない腕時計にはこの表示はありません。腕時計の防水は、大きく分けて、日常生活用防水、日常生活用強化防水、ダイビング用防水の三種類です。防水機能のない腕時計をご使用になる場合は、直接、水に接触するのを避け、水滴がかかってしまった時は速やかに拭き取って下さい。大量の汗や水がかかってしまった場合は腕時計を取り外して下さい。

日常生活用防水（WATER RESISTANT ）

汗や水分、雨水、洗顔時の水滴を防ぐことは可能ですが、水滴がかかるのを防ぐことができるだけですので、入浴、水泳、ダイビング等には不適当です。

日常生活用強化防水（WATER RESISTANT 3気圧. 5気圧.）

常に水を使う作業時や水泳、サーフィン、シュノーケリング等の運動には御使用になれます。

ダイビング用防水（WATER RESISTANT 10気圧. 20気圧.）

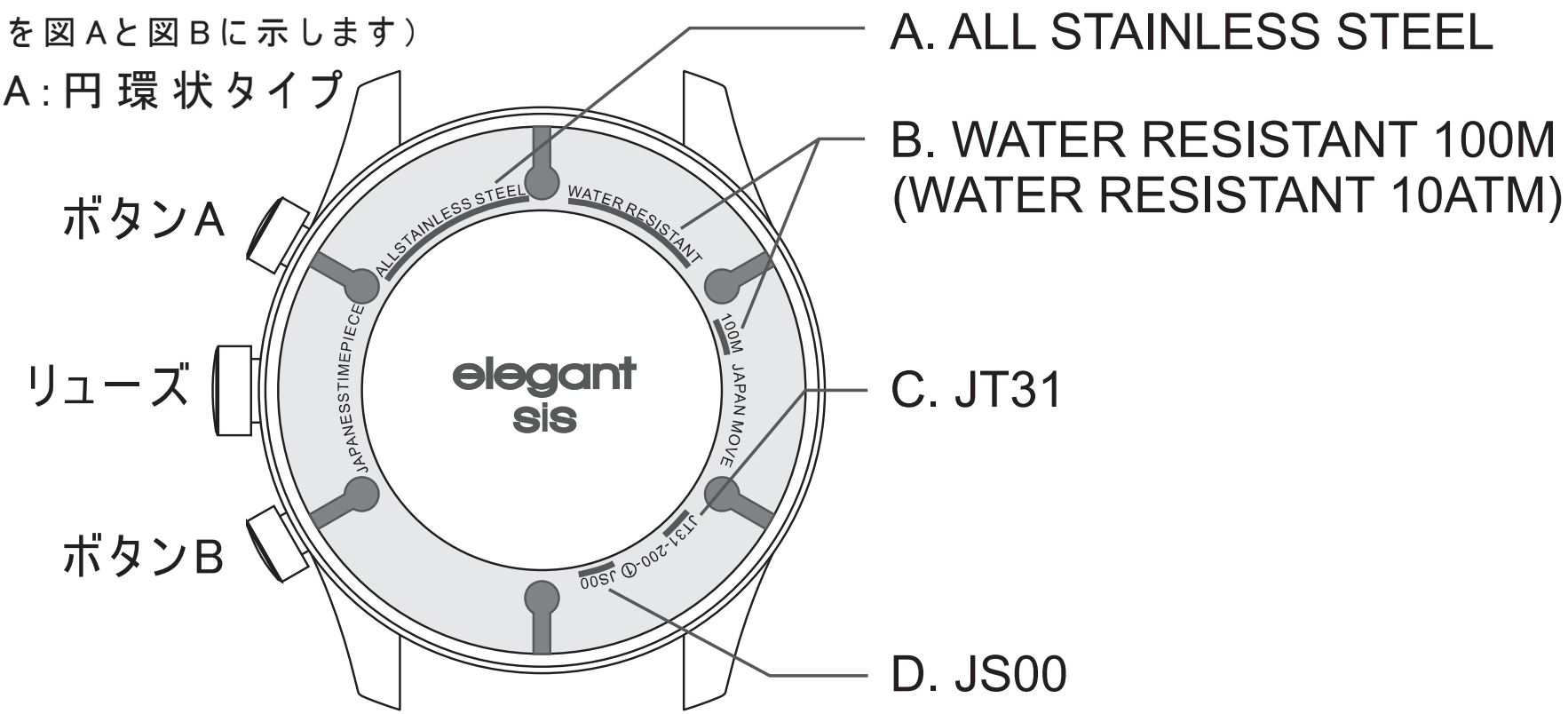
シュノーケリングやスキューバダイビングで御使用になれます。ダイビングの水深に基づき、空気潜水用防水、飽和潜水用防水、プロ(600m ～1000m)用防水に分けられます。

五.ムーブメントについて

以上の詳しいご説明において、腕時計の基本的な概念およびご注意を御理解いただけたことでしょう。さて、次に、裏蓋の刻印に基づいて自分の求めるムーブメントをどのように探したらよいのかについてお話します。

（例を図Aと図Bに示します）

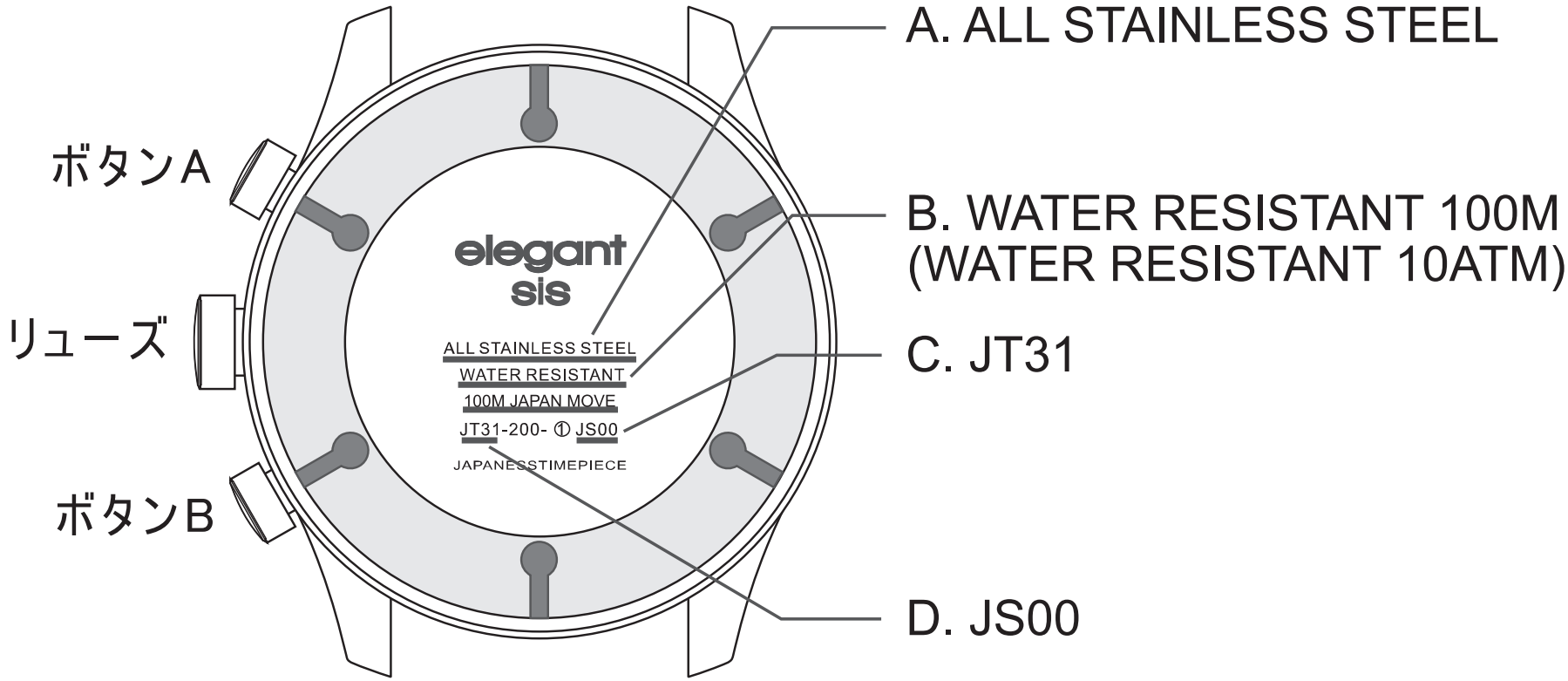
図A:円環状タイプ



A.全ステンレス素材 B.防水度 C.腕時計モデル番号 D.ムーブメントモデル番号

裏蓋の刻印でよく見られるものには円環状または横方向に配列したものがあります。以下は横方向タイプです：

図B：横方向タイプ

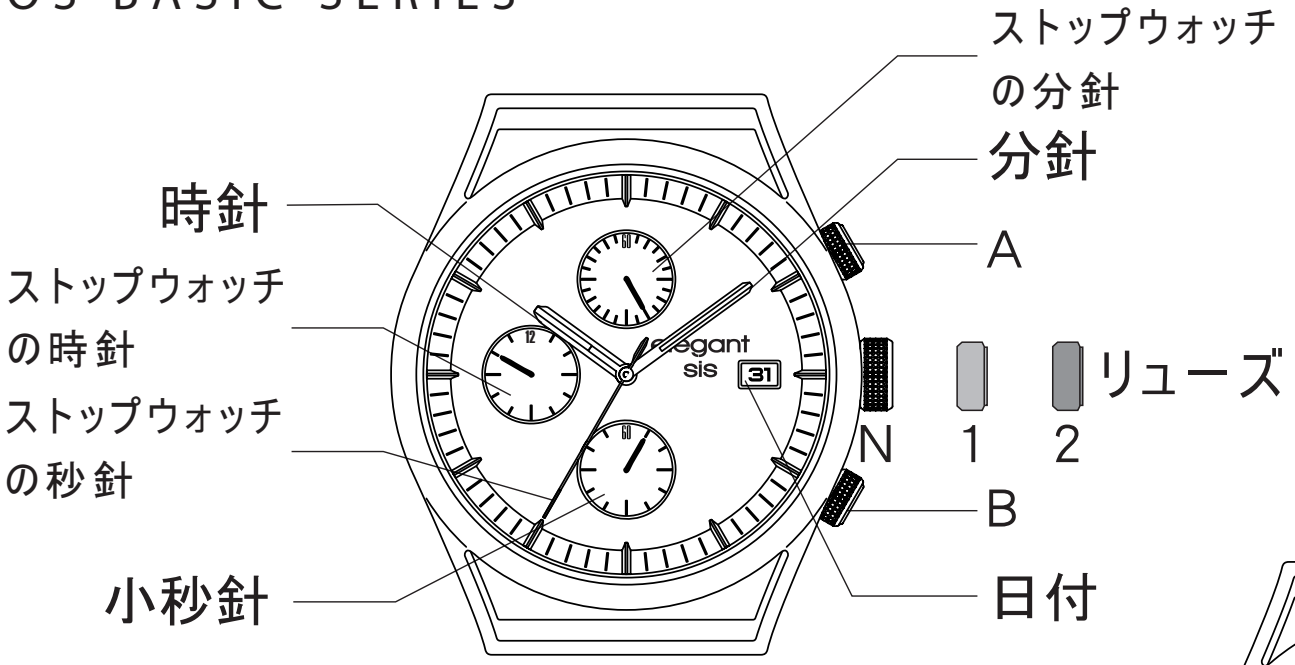


A.全ステンレス素材 B.防水度 C.腕時計モデル番号 D.ムーブメントモデル番号

OS BASIC SERIES

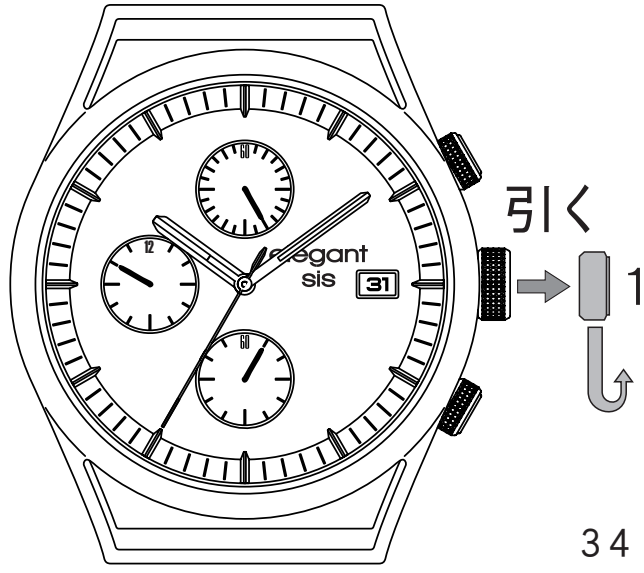
MIYOTA-**OS10**

3インダイヤル
(ストップウォッチの時計
/分計/秒計/日付)
電池寿命3年(SR927W)



リューズ位置

N位置	通常位置
一段引き	日付合わせ
二段引き	時刻合わせ



セット/調整について

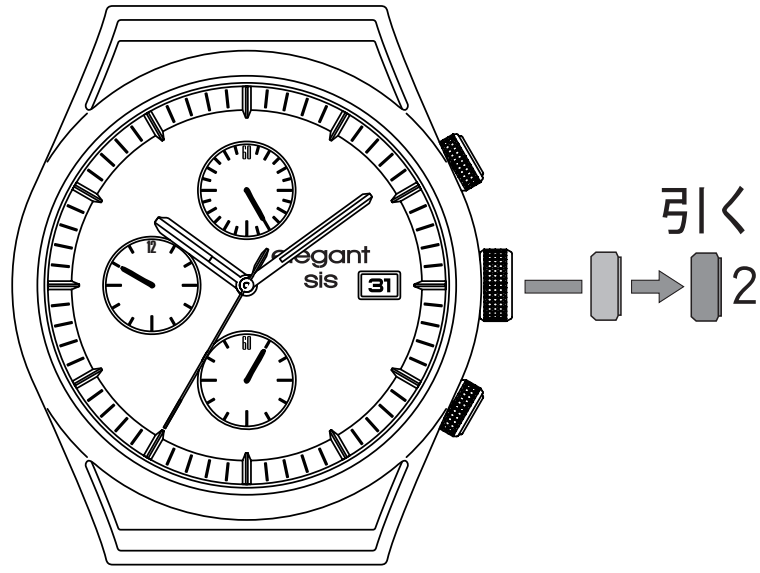
リューズは二段調整式です。一段引くと日付合わせができ、
二段引くと時刻合わせができます。

(一)日付の合わせ方

リューズを一段引いて逆時計回り【下方向】にまわし、日付を正しく
合わせた後、リューズを通常位置に戻して下さい。

(二)時刻の合わせ方

リューズを二段引いて、時針と分針を正しく合わせた後、リューズを通常位置に戻します。



注意

日付表示機能を備えた腕時計は夜9時から早朝3時の間、時刻合わせや日付合わせを行わないで下さい。この時間帯に、日付更新自動システムが起動しますので、時刻や日付を合わせると更新機能に損傷を与えます。よって、上記の時間帯での操作はお避け下さい。

ストップウォッチ機能の使い方

ボタンAを押すだけで、いずれの時刻においてもストップウォッチを起動させられます。再度ボタンAを押すと、ストップウォッチが止まります【計測最大時間は11時間59分59秒】。リセット時には、ボタンBを押すとストップウォッチの秒針と分針が12時位置に戻ります。

リセット機能(電池交換後を含む)について

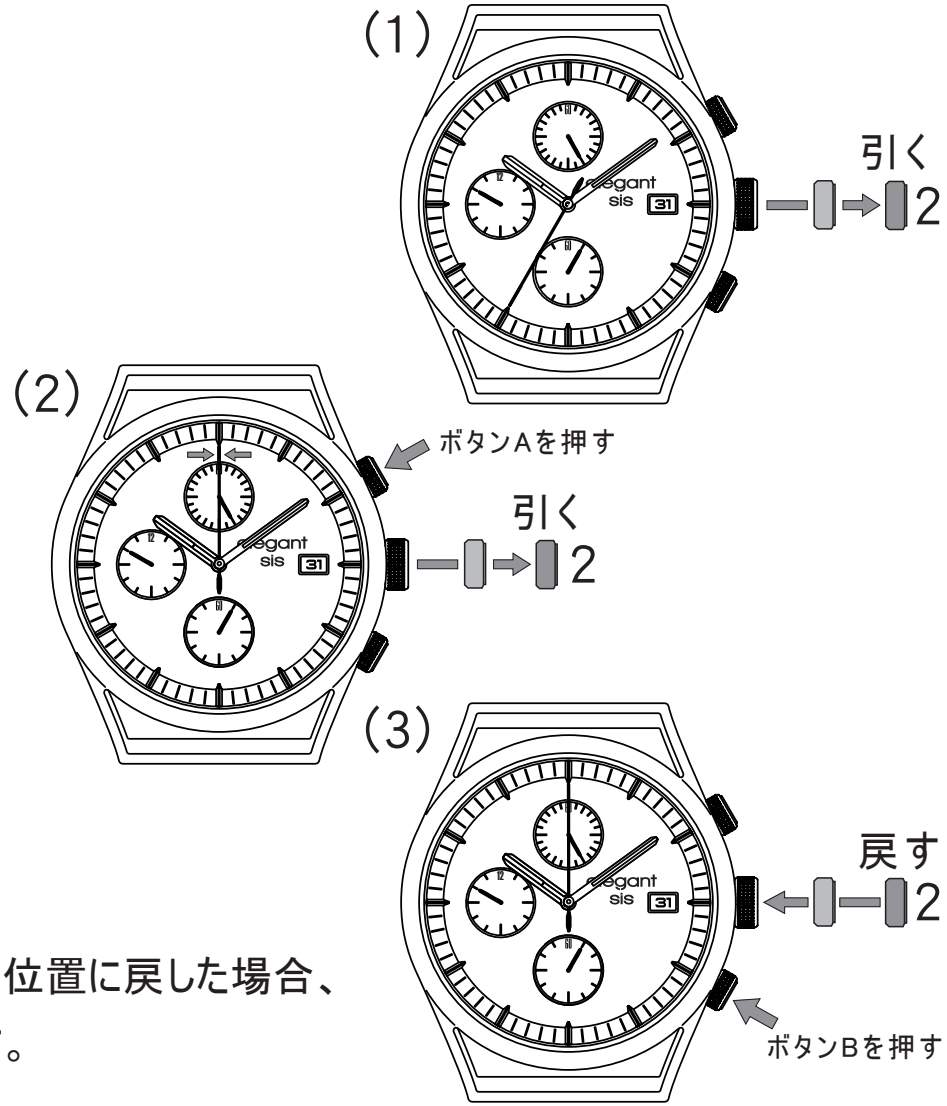
ボタンBを押しても、ストップウォッチの秒針が12時位置に戻らない場合は、次の方法で調整して下さい。このような状況は電池交換後に起こる可能性があります。

調整のしかた

(1)リューズを二段引きます。

(2)ボタンAを連続的に押してストップウォッチの秒針を
12時位置にします。

(3)ストップウォッチの秒針をリセット後、リューズを通常
位置に戻し、並びに、ボタンBを押してストップウォッ
チの秒針位置が正しいかどうかを御確認下さい。



ストップウォッチのリセット

注意

ストップウォッチの秒針が動いている時にリューズを通常位置に戻した場合、
ストップウォッチの秒針はその位置をリセット位置とします。

六.その他のご注意

ご注意!!

◎時計内の電池を取り外さないで下さい。【必要がある場合は全国の販売店またはサービスステーションまでお越し下さい。】
◎すでに電池を取り出してしまった場合は、子供の手の届かない所に保管下さい。子供が誤って電池を飲み込んでしまった場合は、速やかに医師の指示を受けて下さい。

やらないで下さい!!

◎電池をショートさせたり、改造や加熱しないで下さい。また、電池の爆発や加熱による失火を招くことになりますので、電池を火気に投げ入れないで下さい。
◎本電は充電電池ではありません。電池の液漏れを起こしたり電池に損傷を与えますので、絶対に充電しないで下さい。

心からのお願い

◎電池を交換した後は、汚染を引き起こさないために、お近くのコンビニなどでご回収下さい。

以上で、腕時計のご説明を終わります。製品にいずれかの問題が発生しました際には最寄りのサービスステーション（ウェッブサイトをご参照下さい）にて、お問い合わせ及びアフターサービスを承っております。人為的な原因ではない故障につきましては、一年間の品質保証がございますので御利用下さい。最後に、もう一度 elegantsis 製品のお買い上げを心より感謝申し上げたいと存じます。ありがとうございました！

English

Thanks for choosing the elegantsis series wrist watch

You now own an elegantsis series wrist watch. Please read carefully the instructions in this manual before you use and wear the watch. Please kindly safeguard this manual for future references and inquiries. Please also kindly safeguard the elegantsis warranty card at the back of this manual.

Table of Contents

A. Background Knowledge about Wrist Watches ..... P 5 2 - P 5 4

B. Points for Attention ..... P 5 4 - P 5 7

C. How to Take Care of Wrist Watches ..... P 5 8 - P 6 0

D. Descriptions of Water-Proof Functions ..... P 6 0 - P 6 1

E. Illustration of Watch Movements ..... P 6 2 - P 1 0 0

F. Appendix ..... P 1 0 1 - P 1 0 2

G. Warranty Card ..... P 1 5 4

A. Background Knowledge about Wrist Watches

What are quartz watches?

Quartz is a type of leucoxides. It is made of silicon dioxide (SiO2). Quartz oscillates in oscillation circuits. Given a specific set of circumstances, it transmits its own frequency into the circuits. This characteristic can be applied to create quartz watch movements, as quartz oscillators can transform electricity into kinetic energy. Circuit boards are mass produced with automated equipment. Watch movements can be built by inserting resistors and capacitors. Quartz watches are then assembled by adding watch cases, glass and watch belts. They are known for accuracy, light weight and easy maintenance. However, quartz watches tend to have a short life cycle of one or two years.

Differences between Quartz Watches and Mechanical Watches

Usually, at the panel or the back of the wrist watch is noted whether the watches are quartz or mechanical. The other method to tell is to observe how the longest arm moves. If it jumps second by second, it means it is a quartz watch. Otherwise, it is an mechanical watch. However, if one tick of the longest arm takes two or even four seconds, it means that the quartz watch needs to have its battery replaced. Some better-designed quartz watches are equipped with this warning signal by ticking once every four or five seconds. It tells you that you should replace the battery.

Maintenance of Mechanical Watches?

The most frequent reasons for sending mechanical watches for repairs are water seepage and crashing. Unless marked as wafer-proofing, mechanical watches should avoid water seepage because water erodes mechanicals and is highly destructive. Sea water is worst. However, wafer proofing means a guarantee of one year only. It is advised to replace the O-ring in one year, in order to ensure wafer proof features. Meanwhile, it is also necessary to avoid crashing of watches. If economically possible, it is suggested that you should alternate between two or three watches. You can wear an mechanical watch for stationary activities and a sport watch when exercising. This approach lengthens the lifetime of wrist watches. Mechanical watches run with the rolling of gears and springs and hence frictions are inevitable. It is therefore necessary to use lubricants to lengthen the lifetime of watches. It is recommended to inspect mechanical watches each year to see whether there has been any misuse or chronic erosion of movements caused by water seepage. Regular checks are critical. A thorough cleaning and maintenance done by authorized agents every three years is advised. Internal cleaning should be done by professionals; whereas external cleaning can be done yourself. You may use a soft toothbrush and use detergents to brush the belt and wipe it clean with water. The same method can be applied to any water-proof watch case, but not otherwise. Daily external cleaning is important because dusts and sweats, although not noticeable, accumulate over time. Watch belts may rust, erode or become fragile if they are not cleaned in time.

What Are Mechanical Watches?

Mechanical watches can usually be divided into two kinds: manual and automatic. Both are powered by the springs in movements and the resultant operations of gears. The difference is in the source of power. Manual mechanical watches are winded manually. The movements are normally thinner than those of automatic ones. Relatively speaking, manual watches are lighter in weight. In contrast, automatic mechanical watches are powered with the swings to the left and right of a semicircular rotor at the bottom of the movement. The movements are relatively thicker compared to those of manual ones. Mechanical watches can last a long time with regular lubrication and maintenance. However, their errors are greater than those of quartz watches. Such errors are due to the difference in quality of mechanics and the impact of gravity on movements. Generally speaking, the errors of mechanical watches are calculated by the number of seconds per day; whilst the errors of quartz watches are measured with the number of seconds per month.

B. Points for Attention

Watch Movements:

1. Avoid placing a wrist watch in a strong magnetic field, such as the area near a speaker, a microwave or induction stove.
2. In an extremely low-temperature environment, the lubricant for movement parts may condense and cause the wrist watch to stop.
3. Avoid keeping a dead battery inside a wrist watch for a long time, in order to prevent any erosion of movement parts.
4. Avoid long hours of direct sunshine in a high temperature environment in order to prevent damages to movement parts.

Watch Case:

1.As water-proof consumables have limited life spans, it is suggested that wrist watches should avoid showers and should be sent for maintenance on a regular interval.
2.Generally speaking, wrist watches should stay away from long hours of direct sun in a high temperature environment in order to prevent damages.

Watch Belt:

1.It is suggested that the dirt and grime hidden in the belt and on the case should be regularly cleaned off with a soft tooth brush and some neutral detergents. After the cleaning, it is advised to wipe dry the belt with a piece of soft cloth. This approach can lengthen the lifetime of the belt and prevents any irritation to the skin.
2.Most of the genuine leather belts are not water resistant. If touched by sweats or water, these belts should be air dried immediately.

Others:

For any after-sale service, please contact the nearest distributor of elegantsis The list is available on the official website of elegantsis at **(Http://www.eleganttime.com/)**

How to Maintain Wrist Watches?

Mechanical watches and automatic (mechanical) watches should be cleaned and maintained once every three years, in order to keep a good time. The movement parts of quartz also require maintenance. These parts are so delicate that any small substances may stop them from working. If possible, the battery should be replaced immediately after it runs out. All these measures are only part of the regular maintenance. However, there is no need for regular maintenance for digital quartz watches except for the replacement of batteries. It is not necessary to frequently clean the wrist watches with water-proof pads. However, once the case is opened, the pads should be replaced. Otherwise, it is advised to replace the pads each year. Inspections on water-proof features should be made by utilizing the pressure-resistant facilities offered by agents. Meanwhile, constant exposure to chemicals or sea water may damage electric plating on the cases and belts. It is suggested that users likely to expose to chemicals or sea waters should select the wrist watches made of hard metals or in special structures. Also, if cosmetics and perfumes are directly sprayed over wrists or belts, damages will also occur.

Lifetime of Wrist Watch Batteries?

The lifetime ranges from two to five years, depending on the types, sizes and functions of the wrist watches. For example, a timer consumes more electricity than a wrist watch that only displays the hour and the minute. Some wrist watches are equipped with a display to indicate battery power. When the second hand moves once every five seconds, it is time that the battery should be replaced by an authorized agent. In theory, a high-end lithium iodide battery can last ten years.

How to Maintain Watch Belts?

Metal belts

A watch belt may rust or even stain your sleeve if you ignore the sweats on a metal watch belt. Please watch a dirty metal belt with soap. A gentle rub with a soft tooth brush can clean off dirt and grime. (Please avoid water spraying over the watch if the water is not water proof.) After cleaning, please wipe it dry with a piece of soft cloth so that water does not stay in the belt. Please avoid any polish removers, diluents or chemicals. Use water, not chemicals, to clean a wrist watch with reinforced water proof features if the watch has been exposed to sea water.
****The watch crown of a wrist watch with springs tends to accumulate dirt and as a result, the hinge will get tighter and tighter. Should this happen, it is advised to clean the hinge.**

Leather belts

Compared to metal belts, leather belts are more susceptible to the damaging effects of sweat and water. If a leather belt is dampened, it should be wiped dry with a piece of soft cloth that is water absorbent. After you have taken off your wrist watch, please place it in an airy place. It is advised to loosen up the belt, approximately to be able to **allow one finger** in between the belt and your wrist, in the hot season when you sweat a lot. Long hours of exposure to the sun may cause the colour to change. Please do not place your wrist watch in a car or under the sun for a prolonged period of time.

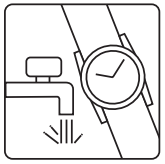
C. How to Take Care of Wrist Watches

1. After a quartz watch stops, the battery should be replaced as soon as possible. If a battery will not be in use for a long time, the battery should be removed from the watch by a professional. Should the electrolyte solution leak out, it may erode the movement.
2. Camphor balls or insect repellents should be avoided in the place where a wrist watch is kept. This is because the continuous evaporation of chemical substances may decompose the lubricant in the watch and cause the watch to be out of order.
3. Before putting away a wrist watch, it is necessary to wipe off the dirt or sweat on the watch with a piece of soft cloth. A wrist watch should not be worn 24 hours a day, because the metabolism of the body, e.g. sweating, skin aging and peeling, may cause dirt to accumulate on the case or belt. This may cause the electric plated colour to fade or stainless steel to erode, or the leather belt to smell or harden.
4. It is suggested that a wrist watch should be sent to the original agent for maintenance once every one or two years, in order to make it last. Such maintenance includes an inspection on water proof features, cleaning and adding of oil and accuracy tests.
5. A leather belt is likely to harden or smell because the climate is hot and humid in Taiwan. The belt may wear off after one or two years in use. At this juncture, the belt should be replaced in order to ensure the appearance of the watch and the comfort of the user. If the belt breaks off because it is harden, the watch may be lost.**(Depending on the humidity and temperature, a leather belt may break off over time, if it is hardened. Please take off the watch and wipe the leather dry.)**

6. **Please do not adjust the time or date between 9pm and 3am for a wrist watch with a date display.** This is because during these hours, the automatic date-switching system is on. A direct adjustment may cause some damage to this function.

7. Instructions on water-proof functionality

Not water proof, not water resistant: Please stay away from water and place the watch in a dry place.



Water resistant/3AT:It is able to resist moisture as the back case is pressurized. However, the watch should not be soaked into water.

Water proof/5AT:The back case is locked. The watch can be exposed to water, but cannot be immersed in water (e.g. swimming or diving).

Diver's watch/>10AT:Please ensure that all the water proof locks after the time is adjusted (no matter diving or not). (Watch Crown)There are locks on the watch crown of a water with over 10ATM water proof feature. Before making any adjustment to the time, it should be opened anti-clockwise. Remember to tighten up in a clockwise manner afterwards.

Points for Attention of Water-Proof Wrist Watches

1. Please avoid strong running water or showers from directly hitting the watch.
2. Please do not operate the watch crown if there is water on the watch.
3. After the time is been adjusted, please ensure that the watch crown is tightened up to the limit.
4. Please avoid any threads from being stuck onto the watch crown because such situations may cause water seepage.
5. Too much soap or shampoo may accelerate the deterioration of O-ring.
6. Please remove your wrist watch before you jump into a hot spring, because there are substances in the hot spring that may cause color changes or erosion of metals or deterioration of O-ring.
7. Water molecules are smaller in the steam form under a high temperature environment. This may cause water seepage.

D. Water Proof Features

The wording "**WATER-RESISTANT**" will be shown on the back of the case only for a water-proof wrist watch. There are three degrees of water proof strength: **WATER RESISTANT**, **WATER RESISTANT 3ATM. 5ATM** and **WATER RESISTANT 10ATM. 20ATM.** Please avoid water for any non-water-proof watch. Please wipe off any water drops dry if any water dampens the surface. Please remove the watch immediately if you sweat a lot or need to use water.

WATER RESISTANT

It can resist sweat, rainwater or water drops (e.g. for face washing). However, the user cannot wear the watch for bathing, swimming or diving.

WATER RESISTANT 3ATM. 5ATM.

The watch can be used for tasks or sports involved water **(e.g. swimming and surfing)** or snorkelling.

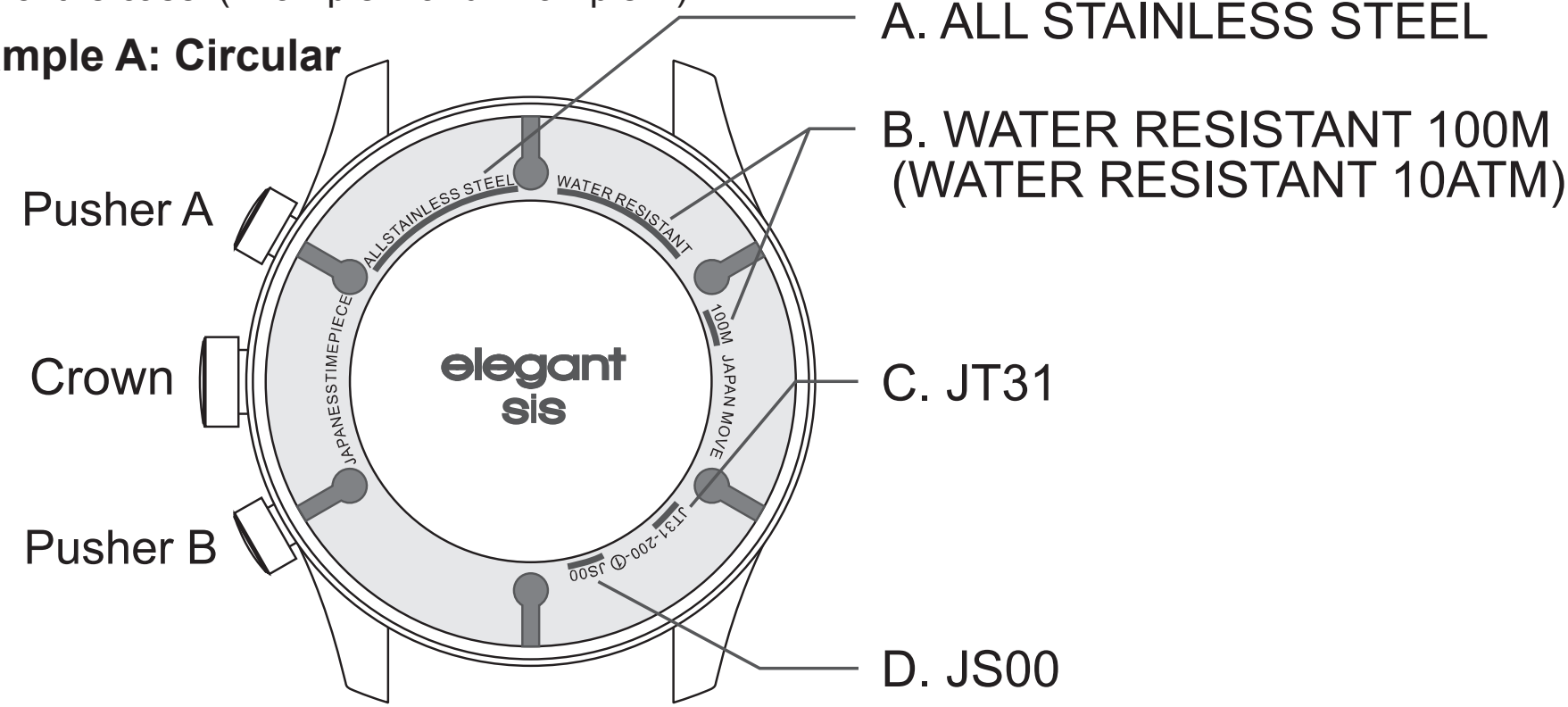
WATER RESISTANT 10ATM. 20ATM.

The watch can be used for snorkelling or scuba diving. There are professional features, such as **air-diving water-proof** and **saturation diving (600m ~ 1000m)**.

E. Illustration of Movements

After you have read with care the basic information and points for attention for your wrist water, please read on to learn how to identify the movement of your watch from the information at the back of the case. (Example A and Example B)

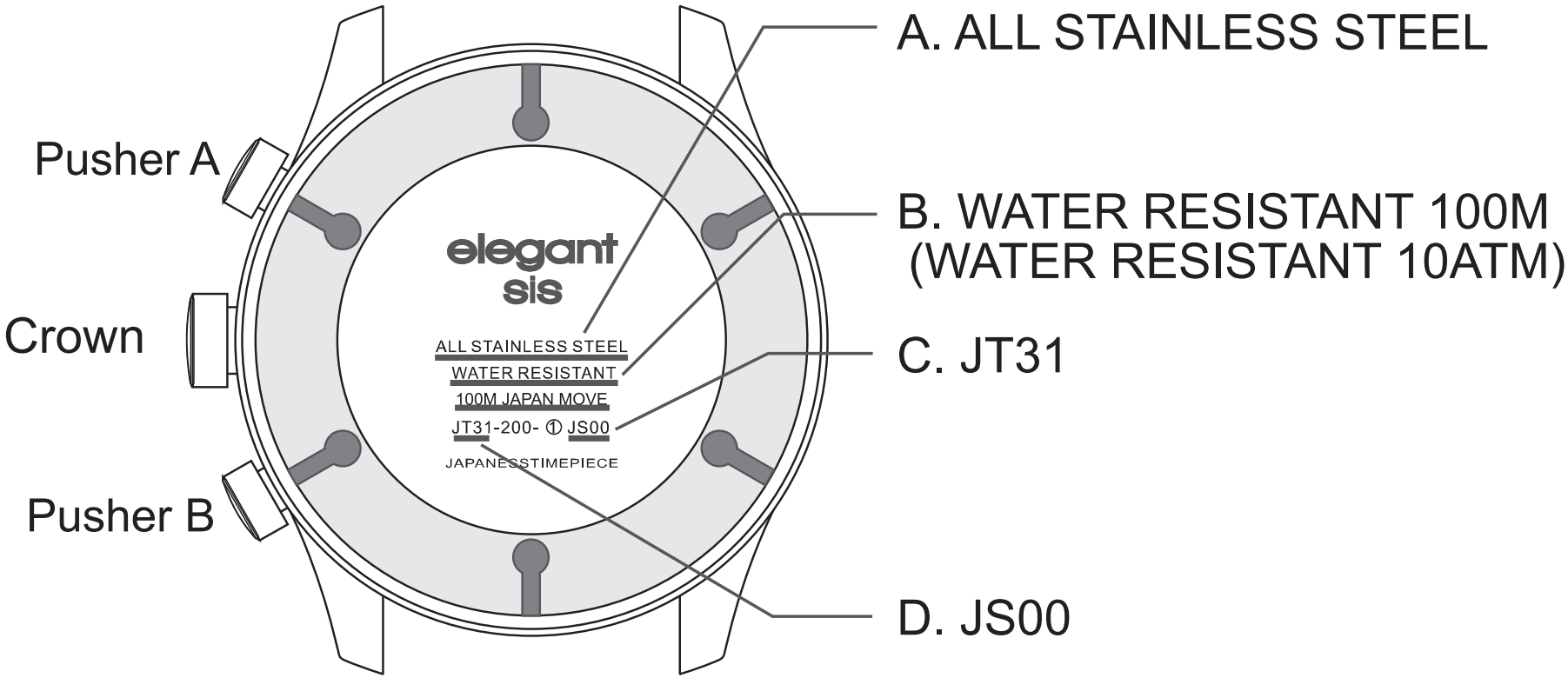
Example A: Circular



A. 100% Stainless Steel B. Water Proof Strength
C. Wrist Watch Model No. D. Movement Model No.

Typically, there are two patterns of displaying information at the back of a watch case: **circular or horizontal**.Below is the format for the horizontal format.

Example B: Horizontal



A. 100% Stainless Steel B. Water Proof Strength
C. Wrist Watch Model No. D. Movement Model No.

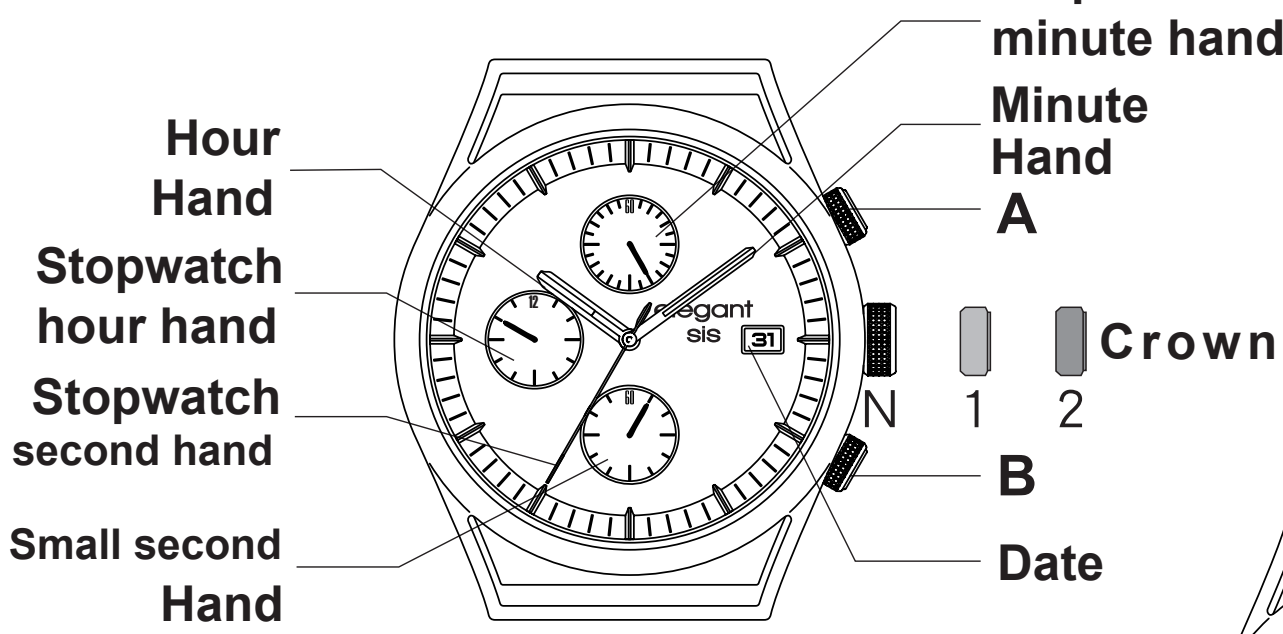
OS BASIC SERIES

MIYOTA-**OS10**

3 eyes (Stopwatch hour hand
/Stopwatch minute hand
/Stopwatch second hand/Date)
3-year battery life (SR927W)

Position of the crown

N-section Usual position
1-section Date set-up
2-section Time set-up

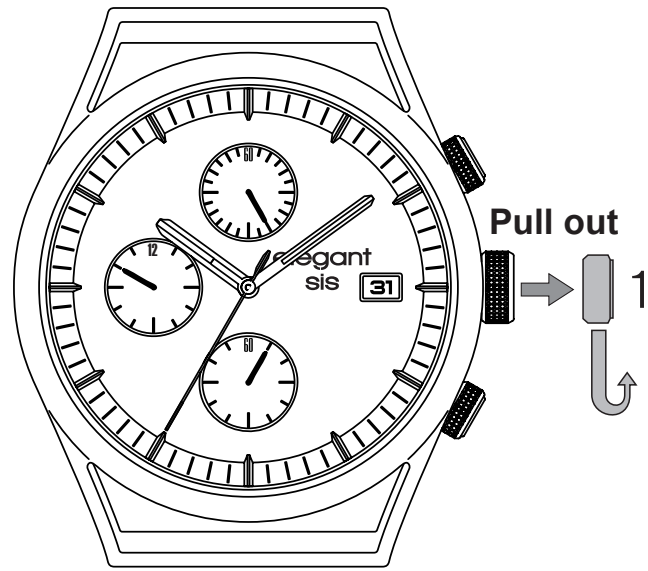


Set-up/Adjustments

There are two sections for adjustments. The first section is for dates and the second section is for the time.

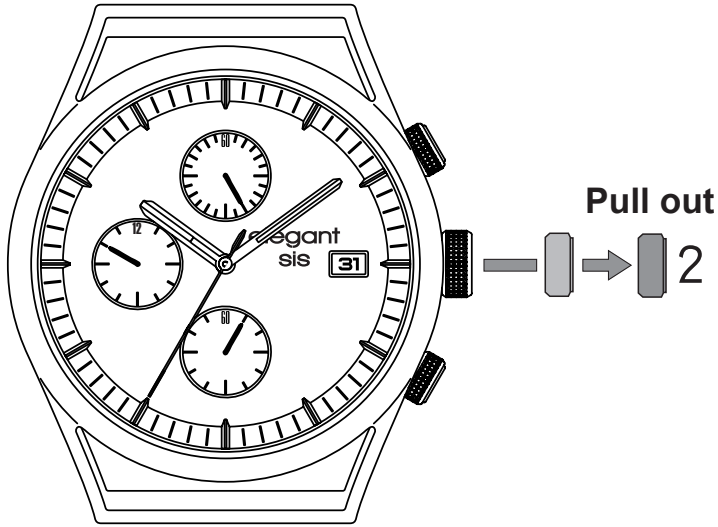
(1) Date Set-up

The watch crown should be pulled out to the first section **anti-clockwise (downward)** to facilitate the adjustment of the date. Afterwards, the watch crown should be pulled back to the usual position.



(2) Time Set-up

After the watch crown has been pulled out to the second section to facilitate the adjustment of the time (the hour hand and minute hand), the watch crown should be pushed back to the usual position.



Attention

Please do not adjust the time or date between 9pm and 3am for a wrist watch with a date display. This is because during these hours, the automatic date-switching system is on. A direct adjustment may cause some damage to this function.

Instructions on Timer Functions

The timer function can be triggered at any time by pressing Button A. By pressing Button A the second hand, the timer function can be switched off. **(The longest duration for the timer function is 11 hours, 59 minutes and 59 seconds per session.)** When re-setting, the second hand and minute hand can be set back to 12 by pressing Button B.

Return to Zero (including the change of batteries)

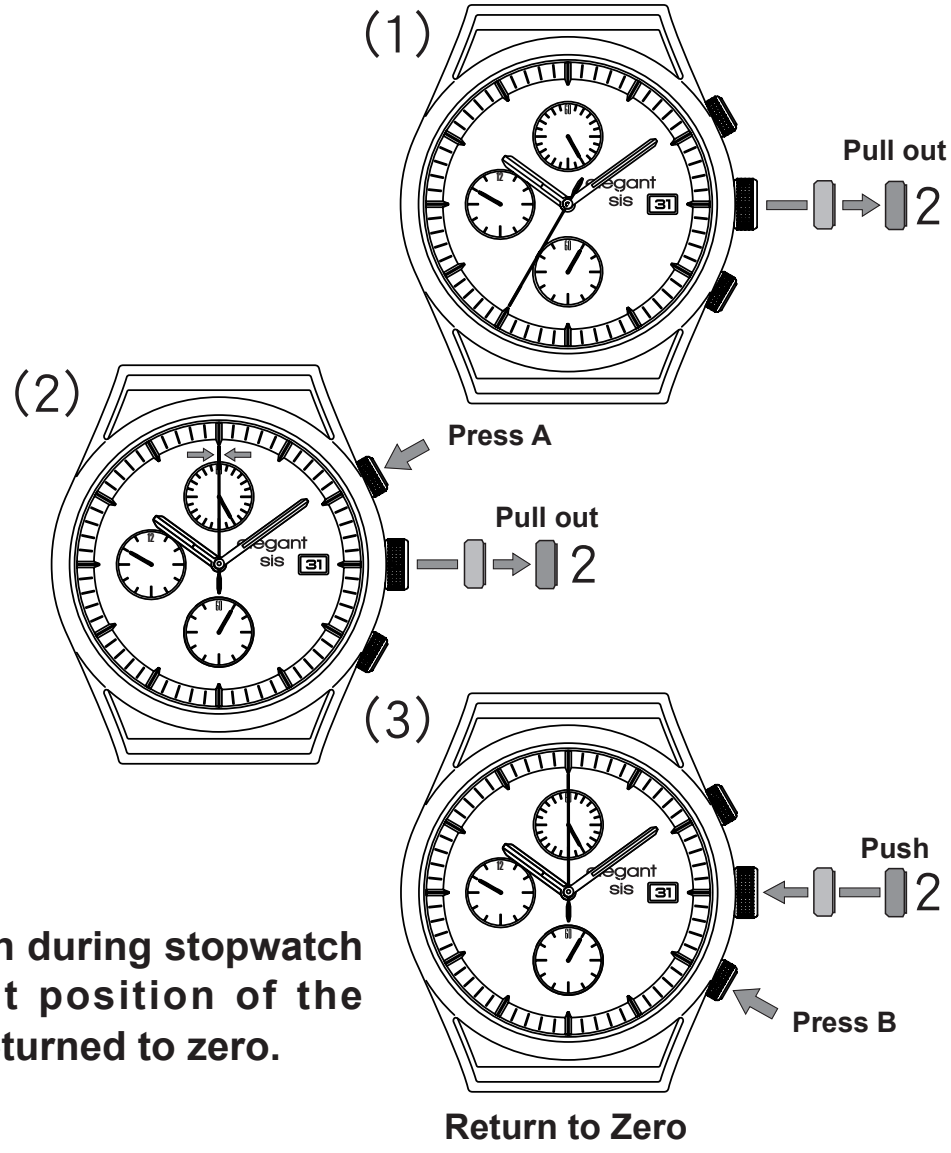
If the timer second hand cannot return to 12 after you press Button B, you may make adjustments by following the instruction below. This may happen after you have changed the batteries.

Adjustment method

(1) Pull the watch crown to **the first section.**

(2) Adjust the timer second hand by pressing Button A continuously until it is returned to 12.

(3) When the timer second hand is back to zero, the watch crown should be adjusted to the usual position. Meanwhile, press Button B to ensure that the timer second hand is in the correct position.



Attention

If the watch crown is back to its usual position during stopwatch second hand is still walking, the current position of the stopwatch second hand is considered to be returned to zero.

F. Appendix

Attention!!

◎ Do not remove the battery inside the watch.(If necessary, please contact our distributors in Taiwan.)
◎ If the battery has been removed from the watch, please place it in a position not accessible to children. If any child swallows a battery, please send the child to the hospital immediately.

Alerts!!

◎ Do not cause any short circuit. Do not try to modify or heat up the battery. Do not throw a battery into a fire because it may explode. Do not heat up a battery because it may cause a fire.
◎ The battery is not rechargeable. Do not attempt to recharge the battery in order to avoid any leakage or damage.

Tips

◎ Please recycled the old batteries at the nearest convenience store to avoid pollutions. Thanks.

The above is the introduction to our wrist watches. Thanks again for purchasing elegantsis products. Please visit our official website for product information and after-sale services at the nearest service points. We provide one-year warranty for any damages not caused by human errors. Thanks again for purchasing elegantsis products. Thanks!

感謝閣下購買

elegantsis

系列腕錶

閣下現在已經擁有一支 elegantsis 系列的專業腕錶，因此在您使用及配戴以前，務必注意閱讀這本小冊子中的各項說明，並請將手冊妥善保管，以便隨時參考與查詢，說明書最後的 elegantsis 保證卡請妥善保存。

目 錄

一. 腕 錶 常 識 …… P 1 0 3 - P 1 0 5

二. 腕 錶 注 意 事 項 …… P 1 0 5 - P 1 0 8

三. 腕 錶 保 養 須 知 …… P 1 0 9 - P 1 1 1

四. 防 水 功 能 詳 述 …… P 1 1 1 - P 1 1 2

五. 機 芯 圖 說 明 …… P 1 1 3 - P 1 5 1

六. 附 錄 …… P 1 5 2 - P 1 5 3

七. 保 證 卡 …… P 1 5 4

一.腕錶常識

何謂QUARTZ石英錶

石英是一種白氧化物，成分為二氧化矽(SiO2)，石英置於震盪電路裡會震動，在特定的條件下，它會將其自身的頻率傳遞到電路中，若將這種特性應用於石英機芯，透過石英震盪器可將電能轉變為動能，利用機械化設備大量生產電路板，再配以電阻及電容，即可完成其機芯，再裝上錶殼、玻璃及錶帶。它的優點是準確、重量輕及保養較容易；缺點是一般石英電池壽命依使用情況多為一或兩年。

石英錶或是機械錶之簡單辨識

通常腕錶的面板或後底蓋有註明**QUARTZ**或是**AUTOMATIC**，就能清楚辨別何種是石英錶或是自動機械錶了。另外一種辨識的方法是看腕錶秒針行走的方式，如果秒針是一秒一秒跳躍式行走的話，那這款錶是石英錶；反之，若非跳躍式行走則是機械錶。若發現秒針一次行走二秒或四秒，此款還是石英錶，當有此現象產生時是告知您手上的腕錶現在需要更換電池了，因為部份設計較佳的石英錶上具有此一裝置，會一次行走個四、五秒，來預先告知您該更換電池了。

機械錶如何保養？

機械錶送修最常見的狀況，不外乎是進水和碰撞。機械錶除非標示具有防水功能，否則千萬要避免錶殼進水，因為水會造成機械腐蝕，破壞力很強。海水更是碰不得。即使是註明防水錶，也只能有一年的防水保障，所以一年之後最好更換新的防水圈，以確保持續防水的功能。 防水之外，更要防碰撞。在經濟能力許可的範圍下，不妨有兩、三支錶在日常生活中替換；靜態活動時戴機械錶，從事運動時則戴運動錶，有助於延長腕錶的使用壽命。機械錶是靠機械齒輪及發條的帶動而運轉，轉動時難免會產生磨擦，所以必須**加油、潤滑**延長使用壽命。機械錶最好每年檢查看看有無使用不當，或是進水造成機芯零件慢性侵蝕的情形，所以**『定期檢查』**非常重要；然後每三年交給**正規的代理店**作一次徹底的清洗、保養。內部的清洗必須交給專業師傅，而外部的清潔工作，不妨自己動手；以軟毛牙刷沾清潔液刷洗錶帶，最後以清水擦拭即可。有防水功能的錶殼亦可用這種方式清理；不具防水功能的錶殼千萬不可刷洗。日常清洗外部的工作很重要，因為汗垢、灰塵等物質，即使細微得無法察覺，實際上仍然不斷累積，未加以清潔，錶帶會生銹、腐爛或脆化，所以最好勤加清洗。

何謂MECHANIC機械錶

機械錶通常可分為下列兩種：手動上鍊及自動上鍊腕錶（AUTOMATIC）兩種。這兩款機械錶的動力來源皆是靠機芯內的發條為動力，帶動齒輪進而推動錶針，只是動力來源的方式有異。手動上鍊的機械錶是靠手動來上鍊，機芯的厚度較一般自動上鍊的腕錶薄一些，相對的整支腕錶的重量比較輕。而自動上鍊的腕錶，是利用機芯底部的自動盤左右擺動而產生的動力來驅動發條產生能源，但相對厚度會較一般手動上鍊的腕錶厚一些。機械錶的優點是：經由定期的保養洗油，可使用很長的時間；但缺點是：誤差較石英錶大，因為製作的品質有優劣及腕錶內部的機芯易受地心引力的影響而產生誤差。通常機械錶的誤差是以每天差多少秒來計算的，而石英錶的誤差是以每月差多少秒來計算的。

二.腕錶注意事項

機芯：

1. **避免**腕錶置於**強磁**環境下，例如：音響的喇叭、微波爐、電磁爐附近。
2. 在**極低溫**環境下，機芯零件間的潤滑油會凝結，可能導致腕錶停止走動。
3. 避免沒電的電池長期滯留在腕錶內部，以免機芯零件遭到蝕損 。
4. 腕錶應**避免**在**高溫**的環境下長期曝曬，以免機芯零件損壞 。

錶 殼：

1. 由於防水耗材有一定使用年限，故建議腕錶儘量**避免沖水及淋雨**，並定期送到鐘錶店進行保養。
2. 一般腕錶應**避免**在**高溫**的環境下長期曝曬，以免損壞。

錶 帶：

1. 建議定期以軟毛牙刷，沾點中性的清潔劑，將殼、帶細縫中的汙垢除，再以軟布拭乾，如此可延長錶帶使用壽命，並防止皮膚過敏。

2. 一般真皮錶帶並不防水，若不慎沾到汗、水，應儘速置於通風處乾燥。

其 他：

為確保腕錶品質，如需任何售後服務時，請就近送至 elegantsis 經銷商處理，請上 **elegantsis 官方網站【Http://www.eleganttime.com/】** 查詢。

腕錶需要怎麼維修？

機械錶與機械自動錶每三年就要清洗與維修一次，才能確保精準計時。石英的活動零件也要維修，因為它們過於細微，難以承受壓力，任何細微的物體，都會使它停止。如果可能，電池用完就應該立即更換，這只是例行的維修。數字石英錶除了更換電池，不需要例行維修。裝有防水墊的腕錶，不需要經常清洗，但是錶蓋一旦打開，防水墊就要更換，否則應該逐年更換，同時利用代理商的抗壓裝置作防水檢查。切記！經常曝露在化學物質或海水中容易損害電鍍的錶殼與錶帶，因此我們建議經常處於這種情況下的人，使用堅固金屬製作或特殊構造的腕錶。除此之外，化妝品與香水如果直接噴在腕錶與錶帶上，也會造成腕錶的損害。

腕錶電池的壽命有多久？

通常是兩年到五年，依照腕錶的種類、大小以及不同功能所需的能量而異。比方計時碼錶耗電量當然大於只顯示時與分的腕錶。有些腕錶附有電池能量顯示器，當秒針每隔五秒才跳動一次的時候，就是該找正規的代理店更換電池的時候。特製的碘化鋰電池理論上壽命則可達十年。

如何保養錶帶？

如何保養金屬錶帶

金屬錶帶沾上了汗水而放置不管，容易造成錶帶生鏽，甚至弄髒衣袖等。弄髒的金屬錶帶請用肥皂清洗。當污垢相當嚴重時，用軟毛牙刷輕輕刷洗即可。**【非防水腕錶請小心避免沾濕錶身】**清洗後，為避免水分殘留於錶帶細縫，請用軟布仔細將其擦乾。保養時，請勿使用去光水、稀釋劑或藥劑。日常生活用強化防水腕錶在海水中使用後，請勿使用化學藥品清潔，以清水清洗即可。**※附有發條的腕錶，錶冠部分容易囤積污垢，使轉軸越來越緊，此時請清理轉軸部分。**

如何保養皮革錶帶

皮革錶帶與金屬錶帶比起來，汗水與水份對於皮革錶帶損害度比較大，所以當不小心弄濕時，請盡快用吸水性強的軟布將其擦乾。取下腕錶後，請放置於通風良好的地方。容易流汗的季節，可將錶帶調鬆，提高透氣性。大約可放**一根手指的鬆度**最為理想。由於長期曝露於陽光下錶帶容易變色，請盡量避免長期放置於車內及陽光下。

三．腕 錶 保 養 須 知

一. 石英錶走停時，應盡快更換電池，若長時間不使用，則應請鐘錶店師傅將電池取出後放在乾燥的地方，以免造成電解液流出，腐蝕腕錶的機芯。

二. 收藏腕錶的地方應避免使用樟腦丸、防蟲劑等，因其化學物質持續散發，分解腕錶內部的潤滑油，容易造成腕錶故障。

三. 存放腕錶前應先將污垢、汗水以軟布拭去。腕錶應避免２４小時都配戴在身上，因為身體無時無刻都在新陳代謝，如：排汗、皮膚老化、剝落，所以容易在錶殼、錶帶堆積污垢，造成電鍍退色、不鏽鋼部份腐蝕或皮帶硬化發臭。

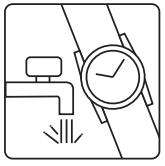
四. 腕錶每隔一、二年最好送原代理商做保養，才能延長其使用壽命，保養項目包括：防水檢測、洗油、點油及測準。

五. 台灣地區氣候悶濕炎熱容易造成皮帶變硬發臭，通常使用一年或二年後皮帶就會損耗，此時必須更換新皮帶，以免影響其外觀或配戴的舒適感，嚴重者可能造成皮帶硬化斷裂而在不知不覺中遺失腕錶。**【依使用情況而定，在不同的溼度和溫度下，時間久了容易造成皮帶斷裂，所以請卸下腕錶後記得擦乾。】**

六. **具有日期顯示裝置的腕錶在夜間9點至凌晨3點之間勿校正時間及日期**，因為此時其換日自動系統正啟動著，若直接校正腕錶會損害其自動換日功能，所以上述時區請避免校正其腕錶。

七. 注意你腕錶的防水性如何

無防水、抗水功能：建議少接近水氣，收藏時請置於乾燥無潮的地方。



抗水裝置的腕錶／3ATM：一般為壓後蓋方式具有抗水氣入侵的功能，但不宜去浸水及游泳，因為只有抗水裝置而已。

防水裝置的腕錶／5ATM：後蓋鎖牙方式，可浸水但不得游泳潛水。

潛水腕錶／10ATM以上：潛水及平時皆應注意調整時間後一定確實鎖緊各個防水龍頭【錶冠】**大部分防水10ATM以上的錶冠會有鎖牙，調整時間前要先逆時鐘轉開，調整完時間之後記得順時鐘鎖緊。**

防水腕錶之注意事項

1. 請避免較強的水柱、力道較強的自來水、蓮蓬頭等高水壓直接衝擊手錶。
2. 腕錶上附著水份狀態時，請勿操作錶冠。
3. 調整時間後，請注意是否有**將錶冠壓緊到底**。
4. 日常生活中穿戴衣物，請留意是否有線頭勾到錶冠，此情形都會導致進水。
5. 過度的肥皂或洗髮乳可能加速防水圈的劣化，請特別注意。
6. 因溫泉含有使金屬變色、腐蝕、使防水墊圈劣化的成分，入浴時請脫下腕錶。
7. 高溫蒸氣因水分子較細，容易產生進水之情形。

四.防水功能詳述

防水腕錶的背蓋上會標識**WATER-RESISTANT**，非防水則沒有此標識。腕錶的防水可分為三大類，**日常生活用防水**、**日常生活用強化防水**及**潛水用防水**。使用非防水腕錶時，請避免直接接觸水份，被水滴滴到時請盡快將其擦乾。大量流汗或用水時請卸下腕錶。

日常生活用防水（WATER RESISTANT ）

可防汗水、雨水或洗臉時的水滴。只可防噴到的水滴，但不適用入浴、游泳、潛水等情況。

日常生活用強化防水（WATER RESISTANT 3ATM. 5ATM.）

可使用於經常用到水的工作或運動(游泳、衝浪等)或浮潛。

潛水用防水（WATER RESISTANT 10ATM. 20ATM.）

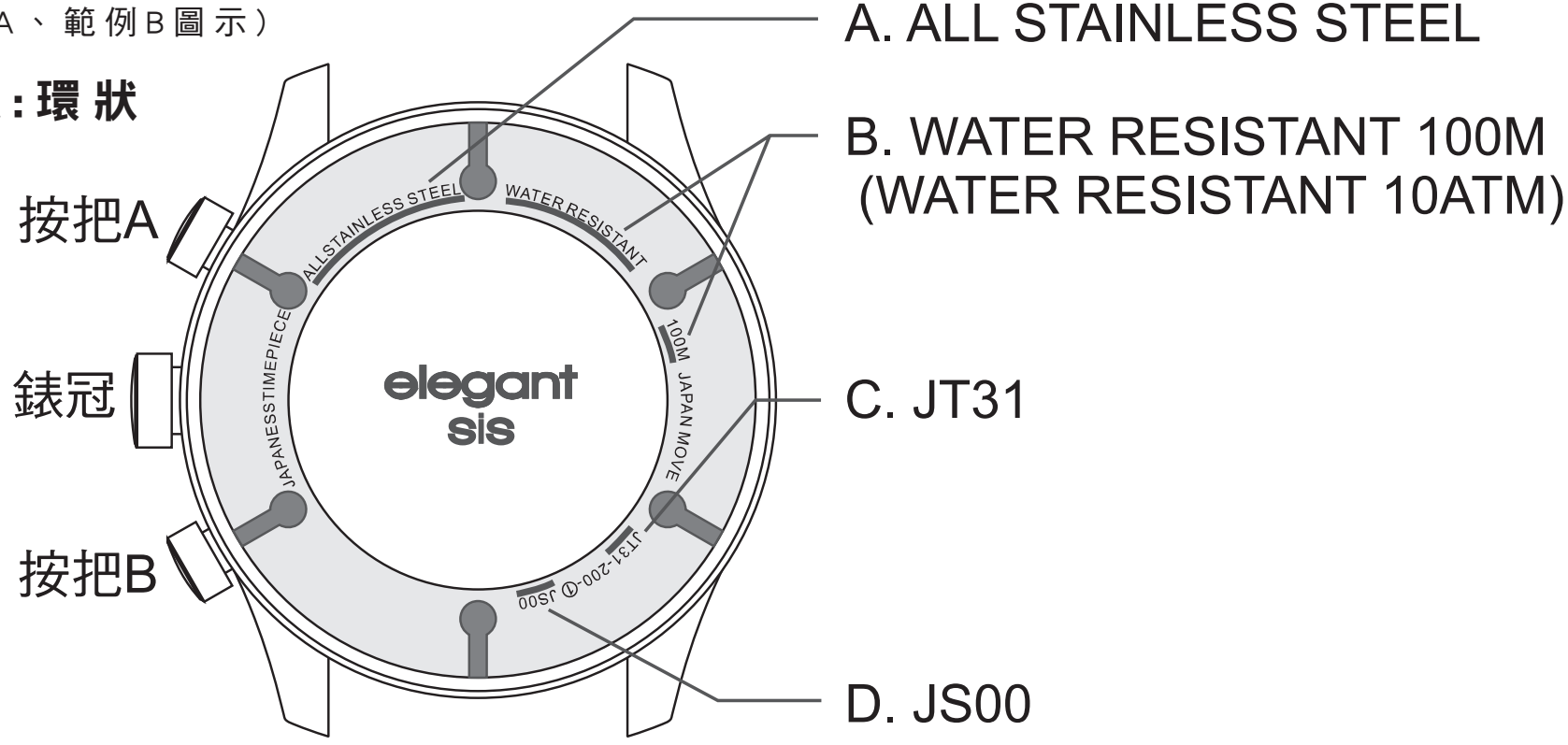
可使用於浮潛或使用水肺潛水時。不同的潛水深度，更可分為**空氣潛水用防水**、**飽和潛水用防水**更有**專業(600m ~ 1000m)用防水**功能。

五.機芯圖說明

當您已經仔細的閱讀並且了解腕錶的基本概念及注意事項，接下來要開始教您如何依照背蓋資訊尋找自己購買的機芯。

（如範例A、範例B圖示）

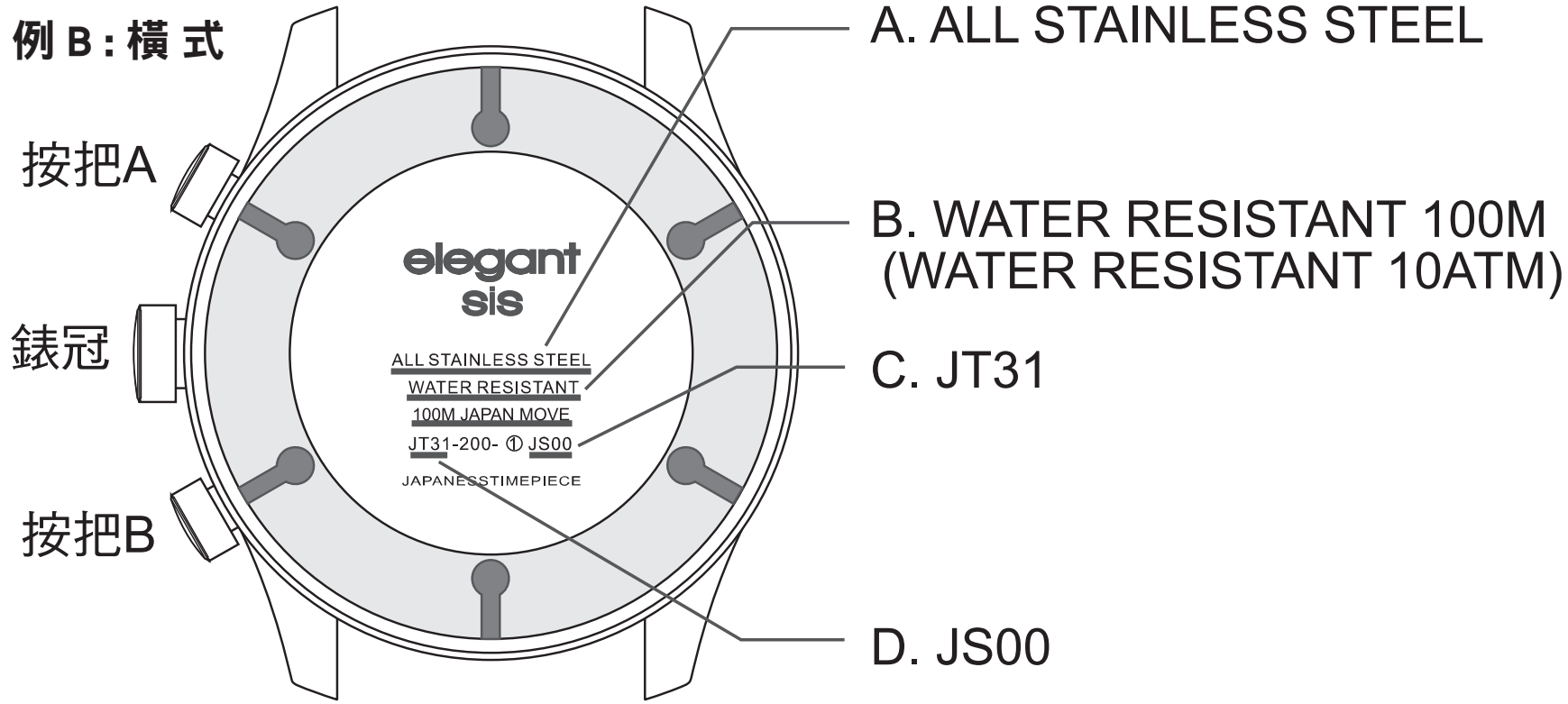
範例A:環狀



A.全不鏽鋼材質　B.防水度　C.腕錶型號　D.機芯型號

背蓋資訊的型式常見的有**環狀**及**橫式**排列，以下是橫式的型式:

範例B:橫式



A.全不鏽鋼材質　B.防水度　C.腕錶型號　D.機芯型號

OS BASIC SERIES

MIYOTA-**OS10**

三眼(計時時鐘/分鐘/秒鐘/日期)

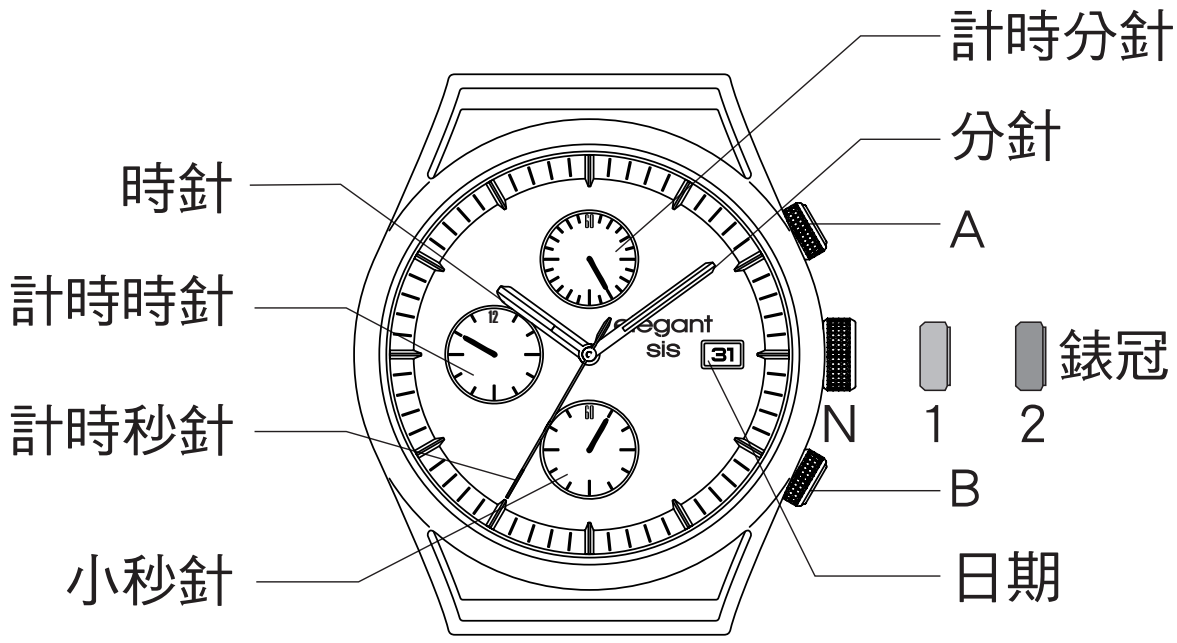
三年電池壽命(SR927W)

錶冠位置

N節位　一般位置

1節位　日期設定

2節位　時間設定

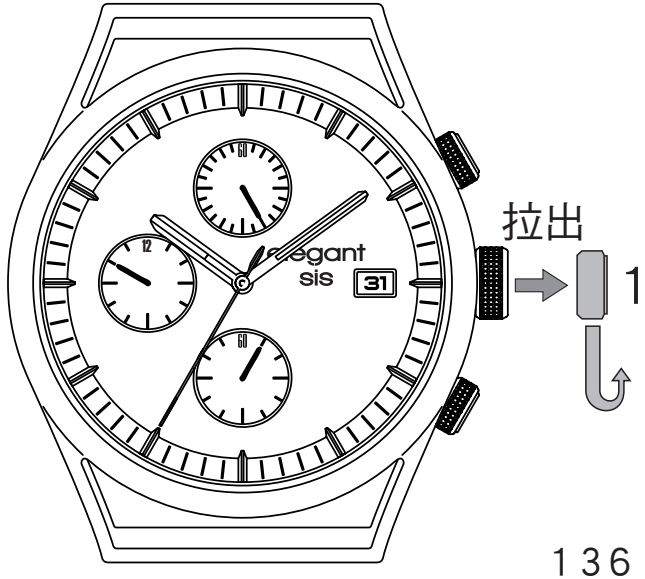


設定/調整說明

錶冠調整共有2段，第1段調整日期，第2段調整時間

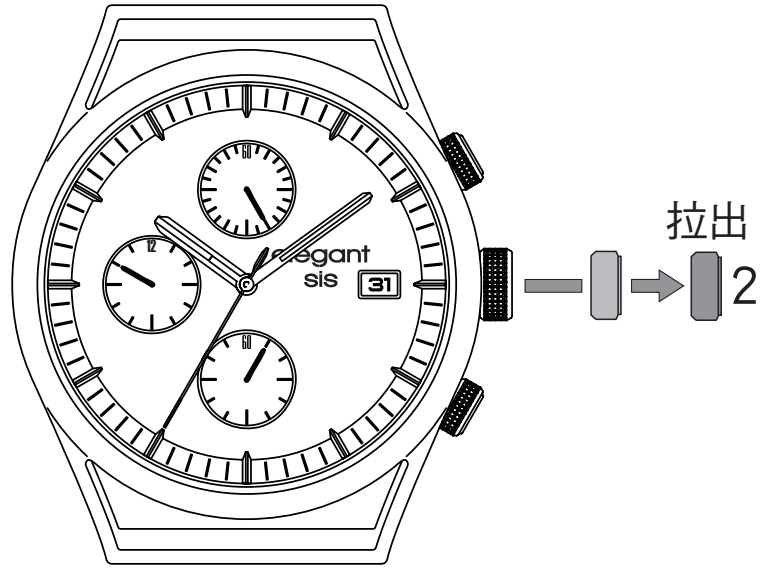
(一)日期設定

拉出錶冠至第1節位置**逆時鐘【向下】**轉動錶冠，設定日期至正確位置後，將錶冠按回一般位置。



(二)時間設定

拉出錶冠至第2節位置，然後調整時、分針至正確位置後，將錶冠按回一般位置。



注意

日期顯示裝置的手錶在**夜間９點至凌晨３點之間勿校正時間及日期**，因為此時其換日自動系統正啟動著，若直接校正腕錶會損害其自動換日功能，所以上述時區請避免校正其腕錶。

計時功能使用方式

按動按鈕A，可再任意時刻啟動計時，再按動按鈕A停止計時【**最大計時時間可至11小時59分59秒**】。重新設置時，按動按鈕B計時秒、分針會回到12點位置。

歸零功能(包含換電池之後)

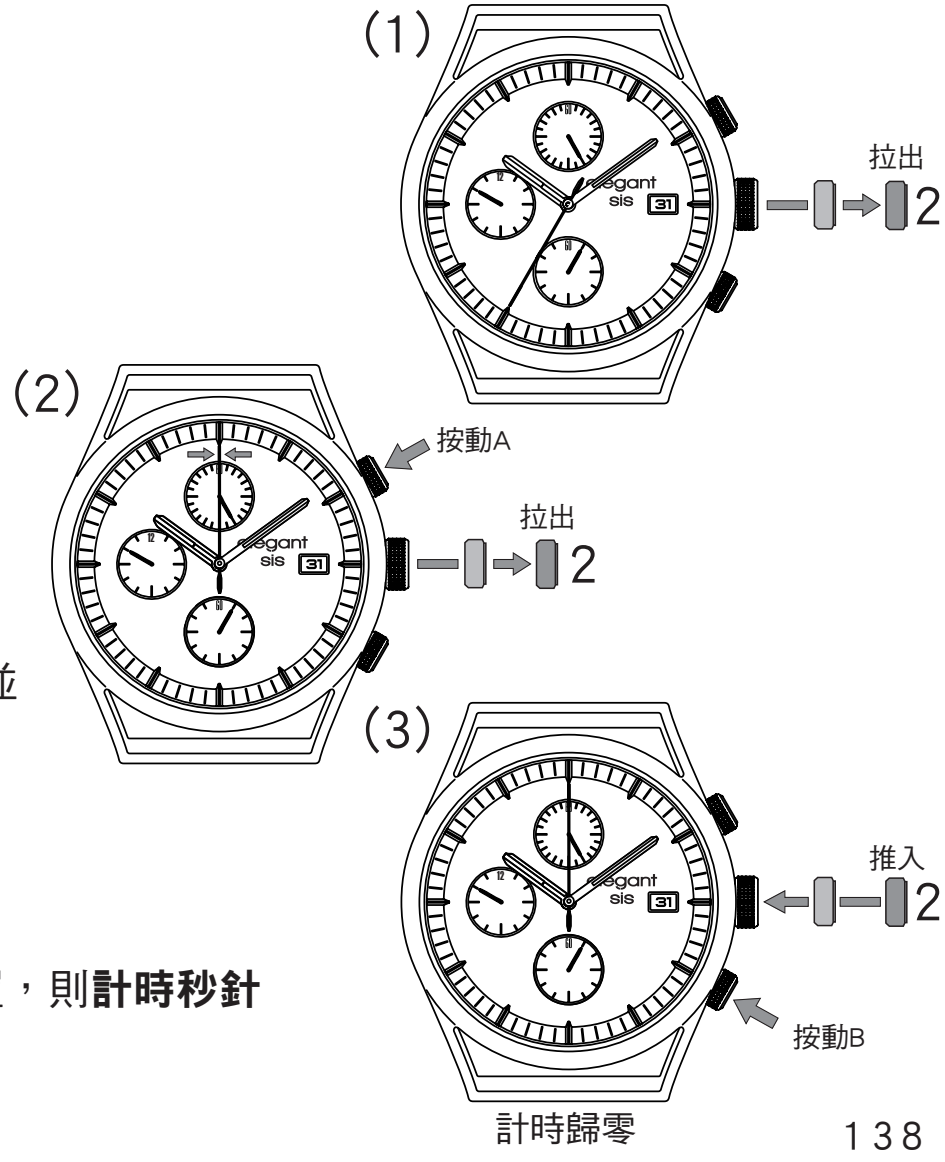
按動按鈕B後，計時秒針未能回歸12點位置時，可依照下列方式進行調整，更換電池後也可能有此情形產生。

調整方式

(1)將錶冠拉出至**第2節位置**。

(2)連續按動按鈕A調整計時秒針，直到回到12點位置。

(3) 當計時秒針歸零後，將錶冠調置正常位置，並按動按鈕B確認計時秒針位置是否正確。



注意

如果計時秒針在行走過程中若錶冠回到正常位置，則**計時秒針**將以當前位置當做**歸零位置**。

六.附錄

注意!!

◎不要卸下錶內的電池【如有需要請至全台經銷商據點】
◎如已取出電池時，務必放置在兒童接觸不到的地方。如果兒童吞下電池，請立即就醫取出。

切忌!!

◎不要使電池短路，也不要改造或加熱電池，不要將電池投入火中，以免電池爆炸，或加熱而導致失火。
◎本電池為非充電性電池。切勿將電池充電，以免導致電池漏液或損害電池。

貼心的叮嚀

◎當更換電池完畢之後，為了不造成污染，請就近到便利商店回收，謝謝!!

以上腕錶說明介紹完畢，再次感謝您購買 elegantsis 系列商品，如果有任何商品的問題，請上 elegantsis 官方網站查詢最近營業據點以便您詢問相關系列商品問題或是售後服務，如非人為因素的情況下，商品損壞，皆有**一年的品質保固**。再次感謝您購買 elegantsis 的商品。謝謝！！

elegantsis

service@japaness.com.tw

www.elegantsis.com